

相馬 ゆうこの 南千住レポート



まちづくり・くらしの情報を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎3802-4627
 FAX:3806-9246/メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp
 相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
 ☎・FAX:3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
 ツイッター@m1010_yuko
 araken-nan.jugem.jp

あれから27年 命をまもる本気の取り組みを

阪神・淡路大震災から、17日(月)で27年。15日(土)には南太平洋トンガ沖



の海底火山が噴火、驚いた方も多かったのでは。阪神・淡路大震災を知らない若い世代も、東日本大震災は記憶に新しい。改めて、繰り返される地震や災害から区民の命を守る教訓をしっかりと考えたい。



○古い木造家屋が密集している地域で 建物の倒壊・延焼、延焼で大規模火災が発生 焼が多くの人命を奪いました。

東京都の5,177丁目別「地域危険度」調査では、町屋4丁目が都内ワースト1位。南千住1丁目23位、5丁目51位と危険な状況です。区は、区内の不燃化領域率を、現在の約6割→2025年までに7割の計画。南千住1・5丁目含め「不燃化特区」に指定、不燃化建築への補助制度も実施しています。



町屋4丁目～全都危険度ワースト1位

町丁目	建物倒壊危険度			火災危険度			総合危険度		
	危険量(棟/ha)	順位	ランク	危険量(棟/ha)	順位	ランク	危険量(棟/ha)	順位	ランク
南千住1丁目	20.55	6	5	19.47	25	5	6.13	23	5
南千住2丁目	9.4	250	4	1.63	671	3	0.29	1856	2
南千住3丁目	4.18	1043	3	0.15	2645	2	0.17	2603	2
南千住4丁目	0.28	4695	1	0	4715	1	0.02	4288	1
南千住5丁目	16.21	25	5	15.97	33	5	4.51	51	5
南千住6丁目	9.59	237	4	3.51	349	4	1.17	447	3
南千住7丁目	8.58	313	4	3.4	363	4	1.81	251	4
南千住8丁目	0.25	4753	1	0.01	4264	1	0	4717	1
町屋4丁目	19.74	8	5	35.76	6	5	17.76	1	5
荒川6丁目	16.41	24	5	36.54	5	5	12.52	3	5

「危険量(棟/ha)」は、1畝当たりの建物「全壊棟数」や「全焼棟数」

○亡くなった方の8割が、家屋や家具の倒壊による圧迫死

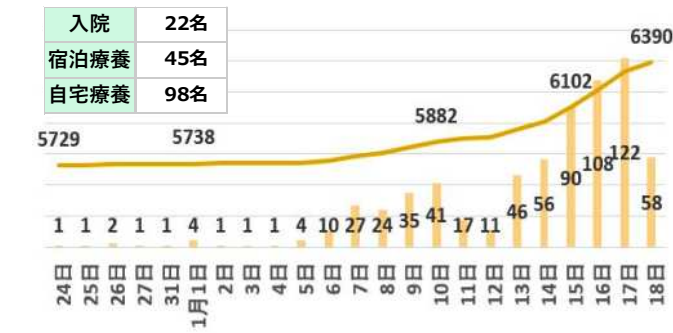
家具類の転倒・落下防止器具の購入費用助成を実施、区内の対策実施率は約7割に。また、現状の住宅耐震化率85%→95%へ引き上げが目標。命を守る対策を着実に進めていきたい。

他にも教訓が…○道路や鉄道の損壊で、激しい道路渋滞が起き、食料・物資の輸送が困難に。緊急輸送ルートの確保を再認識。○自治体は救援物資の調達方法や保管、人手確保が課題に。支援の受け入れ体制整備も重要。○消火栓が使用不能、消化活動が困難に。防火水槽のほか、プール・ビルの貯水設備や河川水の活用策も要検討。

新型コロナ感染急増～感染防止と命を守る対策も

区内でも新型コロナ感染が急拡大、先週末から1日100人以上となり、年末はゼロだった入院・宿泊療養も増加しています。若年者の感染が多く、重症者は少ないといわれますが、高齢者や持病を持っている方への感染が広がれば、楽観はできません。感染防止と命を守る対策が問われます。

子どもも 保育園・幼稚園、小中学校での感染拡大で学級閉鎖が続いてい 有症状が多数 ます。子どもの大半に熱などの症状があり、医療機関混雑も心配。



施設名	学級閉鎖	期間
南千住第二中学校	学級閉鎖	1/14(金)～1/22(土)まで
第三瑞光小学校	学級閉鎖	1/18(火)～1/22(土)まで
第二峡田小学校	学級閉鎖	1/18(火)～1/22(土)まで
大門小学校	学級閉鎖	1/18(火)～1/22(土)まで
汐入こども園	学級閉鎖	1/18(火)～1/22(土)まで
夕やけこやけ保育園	クラス閉鎖	1/11(火)～1/18(火)まで
キッズあおぞら保育園	クラス閉鎖	1/12(水)～1/26(火)まで
原保育園	クラス閉鎖	1/13(木)～1/26(火)まで
荒川保育園	クラス閉鎖	1/14(金)～1/22(土)まで
尾久隣保育園	クラス閉鎖	1/14(金)～1/22(土)まで
ミラツ東尾久保育園	クラス閉鎖	1/15(土)～1/19(水)まで

公表日	1月17日	15・16日	14日	13日	12日	11日	1月5・6日
施設名	四中、町屋幼、二日小、三日小、汐入東小、四峡小、汐入小、二峡小、七峡小、九峡小、大門小	汐入子ども園、ミラツ東尾久保	荒川保、尾久隣保保、原保、ひぐらし小、花ノ木幼、五中、南二中	太陽わかば保、コンビ保、にじの樹保、とちのき保、原保、上智聖ローザ保、まなびの森保、ピノキオ保	デイみらい町屋、さくら保、熊野前保、キッズあおぞら保、瑞光小、一中、南二中、三瑞小、諏訪台中	夕やけこやけ保、ういず町屋保、熊野前保、さつき保、三中、六瑞小、	ういず南千住保、北庁舎、スポセン、おたけの郷

天災は忘れたところに… トンガ王国では想定外の海底火山噴火で、陸地そのものが消滅?

火山灰の影響や海底ケーブルも寸断され、飲料水も通信手段も途絶。「天災は、忘れたところに」と言われます。トンガ支援とともに、気を引き締めて身近な備えと国・自治体の取り組みを強めたい。



防災体験学習ツアー…東京臨海広域防災公園(江東区有明)で「東京直下72h TOUR」をやっています。「冬の午後6時に首都圏で直下型地震が発生した」という想定で、地震が起きた街や避難所などが体験できます。崩れたビルや屋根が落ちた家屋、倒れた自動販売機などリアルに再現。家族で体験し、備えるのもいいかも。

〈法律・生活相談〉

2月の定例法律相談日は 10日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所の定例法律相談は、毎月第二木曜午後6時からですが、平日の午後に法律事務所(北千住)でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

もつともつ 「子育てしやすい街」荒川区を

日経xwoman（クロスウーマン）と日本経済新聞社の共同調査によると、2021年「共働き子育てしやすい街ランキング」で、荒川区は都内で3位・23区中では板橋区と並んで1位でした。（全国では11位）

ランキングは、認可保育園や学童クラブの充実、保育の質、病児保育など計43の項目を100点満点で評価。全国1位は松戸市で83点、市の「認可保育園の園庭保有率80%」や「保育の質を担保するガイドライン」などを評価したよう

ツインズサポート事業(多胎児保育支援事業)による
タクシー利用料・一時保育等利用料の
助成を実施します。



です。荒川区にとっても大切な課題です。

荒川区は、0～3歳の在宅育児世帯にキッズクーポンを届ける「地域子育て見守り事業」や、双子などの多胎児世帯にタクシーや一時保育の利用助成を行う「ツインズサポート」などが評価されたようです。

実態にあったところが、「地域子育て見守り事業」はコロナ禍で訪問を中止、1歳児への絵本交換券も今年度から廃止に。また、「ツインズサポート」も、子どもが3歳になるとタクシー助成が使えないなど課題も。他自治体の取り組みを参考にして、子育て世帯の声を聞き、支援を充実させていきます。

共働き 子育てしやすい街 ランキング 2021		東京編 BEST 10
1位 福生市 76点	5位 豊島区 67点	
2位 青梅市 74点	6位 中野区 66点	
3位 荒川区 71点	7位 葛飾区 64点	
	8位 新宿区 64点	
	9位 江戸川区 63点	
3位 板橋区 71点	9位 品川区 63点	

生涯学習センターが民間→直営に

区民の地域活動促進のため、サンパール6階で実施している「荒川コミュニティカレッジ」と、「区民カレッジ」を再編し、生涯学習センターに統合することが提案されました。コロナ禍で町屋文化センターの読売カルチャー講座が撤退し、「区民カレッジ」「コミカレ」の運営方針を再検討したものです。

あわせて、生涯学習センターは民間委託から区直営に変更、「受講者と地域の継続的な関係作り」「区の部署との連携」を推進、「専門性を有する職員を直接雇用する」ことで、サービスの向上や迅速な住民対応を可能にしています。経費も2,000万程度削減です。

自主講座や区民団体支援も

区は、区民の生涯学習や文化・芸術講座を、指定管理者制度で民間に任せることで「サービスの向上や経費削減になる」としてきました。このコロナ禍で、民間企業任せではなく、区が専門性を確保し、区民の自主講座や団体を支援して地域文化の自力をつくっていくことが、あらためて求められているのではないのでしょうか。



	区民カレッジ	荒川コミュニティカレッジ
場所	生涯学習センター	サンパール荒川6階
受講料	なし (テキスト代として1回100円)	年間12,000円
回数	講座により全4～8回	月2回の1年コース(全20回程度)
運営	株読売・日本テレビ文化センター	区

「遺骨混じる土砂、使わないで」区民から陳情



沖縄本島の辺野古ですすめられている米軍の新基地建設に、戦没者の遺骨が混じる土砂が使用されようとしている問題で、国に対し「土砂の使用中止をもとめる意見書を出してほしい」と区民から陳情が出され、委員会で採決がありました。

南千住8丁目 陳情は同趣旨で2本あり、そのうちの1本は、南千住生まれで現在Kさんから 8丁目に住むKさんから。Kさんの父は、Kさんが2歳のとき出征、4歳のときに沖縄県南部の八重瀬町で戦死されました。遺骨の引き渡しがあったのは2年後で、渡された箱の中には「砂が少量こぼれただけ（ご本人談）」でした。2016年に国が「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」を制定したことをきっかけに、遺骨収集の活動をされています。この荒川区にも沖縄戦の遺族がいらっしやることに、「他人事ではない」と痛感します。



現在の八重瀬町

県内調達の7割超が南部 新基地は、沖縄本島北部の辺野古沖を埋め立てる計画ですが、海底に軟弱地盤が見つかり、沖縄防衛局は建設設計の変更を申請。埋め立て土砂の県内調達量を当初計画の約6・7倍に増やし、その7割超を南部地区からとしています。



沖縄は太平洋戦争で国内唯一の地上戦が行われ、本島南部は激戦となった場所です。一般住民をふくむ77,458名が亡くなり、そのうち東京都在住の方は3,521名。遺骨が見つからない方も多く、現在も収集が行われていますが、風化もすすみ、小さなものは土と同化しているのが現状です。Kさんは「このことを考える際、保守も革新も与党も野党もなく、人道的に許されないこと」

とおっしゃっていて、本当にそのとおりだと思います。

荒川区でも 委員会では、日本共産党と民主ゆいの会が「採択」、自民・公明・元N国党・創新党が「不採択」とし、結果は2本とも「不採択」でした。

「基地建設を推進する立場なので採択できない」という意見もありましたが、陳情は「遺骨の混じる土砂を埋め立てに使わないでほしい」というものであり、基地建設の是非を問うものではありません。



すでに全国150以上の自治体から国へ意見書を提出。荒川区も続きたい。区議会2月本会議で、最終の採決があります。がんばります。

ご意見・ご質問頂きました ○メール頂いています。「先日見たら売り看板が立っていました。あまり人気がないのかもしれませんが。ぜひ区で購入して公開緑地にしてほしいです」…汐入公園やアクリンティ周辺と条件がある場所は緩傾斜型堤防整備がすすんでいます。すでにマンション建設や住宅がある場所は困難。常磐線の渡河橋から汐入方面にいく手前の川沿いの土地です。公有地として入手できればよいと思うのですが、都も区も決断できないようです。財政面も検討しながら将来を見据えて決断を。

